

令和2年度 学校評価について

本年度の重点目標	『自分で考え、自分を磨き、自分を表現する』をスローガンに、名南工生のための4つの柱（考動・挨拶・授業・部活動）を基とし、何事に対しても積極的にチャレンジする人材を育成する。		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
広報活動 P T A活動 (総務部) (工務部)	P T A会員に対し、工業高校である本校への教育活動の興味・関心の高揚	・ P T A行事等に多くの参加を図るため、いろいろな意見を参考にすると共に、きずなネットをより有効に活用する。	きずなネットをより有効に活用するとともに、各種行事が魅力あるものになるよう工夫し、保護者の積極的参加を図り、本校の教育活動に理解と協力を得る。
学習指導 (教務部)	学習意欲の向上と学習習慣の確立	・ わかる授業の実践に心掛け、生徒の学習意欲と学力の向上に努める。 ・ 学習意欲の希薄な生徒に対する指導の充実を図る。	・ 基礎学力の低い生徒に対して、学びなおしの充実を図る。 ・ 指導の展開や方法についての研究、研修を推進し、授業改善に努める。
生活指導 (生徒指導部)	基本的な生活習慣を確立させ、自己指導能力のある生徒の育成	・ 生徒が自然に挨拶できるように、全職員で協力し、挨拶指導の実施を計画する。 ・ 各学年と協力し、遅刻の減少に向けて遅刻指導を実施する。 ・ 服装や頭髪指導など身だしなみについては、見逃すことなく全職員で声かけを行う。 ・ 交通安全についての情報を生徒に発信し、安全な通学路を選択できるようにする。	・ 職員間、保護者との連絡を密にして、生徒の指導にあたる。 ・ 生徒が理解して行動ができるよう連絡方法を配慮する。
特別活動 (生徒会部)	生徒会執行部による企画・運営への参画と、実行委員との協力による行事の充実	・ 生徒会執行部に生徒会顧問の企画・運営の仕事を分担すること。 ・ 有志委員会を維持し、生徒会執行部と協力させる。	・ 生徒会執行部に企画・運営の全てを行わせるのではなく、できることを分担する。
進路指導 (進路指導部) (工務部)	進路への関心を深め、職業観・勤労観を育成し、進路実現	・ 低学年から進路について考えるきっかけを作る。 ・ ミスマッチのない進路選択をサポートする。	・ 職業レディネステスト、職業適性検査の結果を活用する。 ・ 個人面談を行うなどして、きめ細かい指導を行う。
学校安全 (保健部) (総務部) (生徒指導部)	生徒の安全確保と生徒の安全意識の高揚	・ 安全点検、防災点検の適正な実施、および避難経路の周知徹底を図る。	・ 防災点検の適正な実施と、災害時の避難意識を高める。
保健・美化 (保健部)	心身ともに健康な生徒の育成	・ 生徒保健委員会、生徒美化委員会の年間を通じた積極的な活動を行う。 ・ 相談活動や支援を必要とする生徒への適切な対応と校内連携を実現する。 ・ 生徒会行事（グリーンプロジェクト）との連携を行う	・ 生徒保健委員会による保健衛生活動の充実。 ・ 生徒美化委員会による校内環境の整備。 ・ 相談活動の充実。 ・ S C・S S Wの有効的な活用と職員間の情報の共有。
工業教育に関する活動 (工務部)	資格・検定試験の受検者数と合格者の増加	・ 告知、掲示の仕方を工夫し、多くの生徒に周知する。 ・ 資格・検定試験を通じて、学習支援につなげる。	・ 提供する情報が煩雑にならないように精選する。
図書館活動 (図書部)	図書館の活性化	・ 図書委員による自発的な活動を促し、生徒を主体とした魅力ある図書館作りを目指す。	図書委員の自由な発想を引き出し、具体的な活動に繋がるようにイメージさせる。 職員及び一般生徒に対する広報活動を充実させる。

いじめ防止対策の推進 (生徒指導部)	いじめの未然防止に係る取組の充実と早期発見、適切な事案対処	<ul style="list-style-type: none"> ・全校集会、学年集会、ホームルーム活動を通して、いじめ防止に関する講話やお互いの人権を尊重するホームルーム活動等を実施し、いじめ問題を考える機会を設ける。 ・教職員間の連携を密にし、いじめアンケート等を実施していじめの早期発見、適切な対応を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に考えることができるようにする。 ・教職員のみならず、生徒、保護者に周知する。 ・アンケートの様式や実施方法、その後の組織的対応の在り方について、いじめ対策委員会で検討する。
学年経営 (第1学年)	規律を守り、基本的な生活習慣を確立させるとともに誠実に物事に取り組むことができる人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、授業時間前の準備、正しい制服の着用を確実にし、誠実な行動ができるようにする。 ・いつもきれいな黒板にして、落ち着いた状態で授業を迎えることを当たり前の状態にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の情報を共有し、副担任や各分掌と連携を図り指導する。 ・学年主任を中心に、学年で一貫した指導を心掛ける。
学年経営 (第2学年)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立と積極的に学習する態度の育成 ・集団生活における自己の主体性と協調性の育成 ・次年度に向けた進路指導の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席や遅刻、身だしなみ等に対する指導を徹底し、授業を真剣に取り組む態度を育てる。 ・集団での規律ある行動やマナーの指導、責任ある態度を育成する。 ・進路指導部、保護者と連携をはかり、生徒の希望する進路の実現に向けて、適切な進路指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の情報を学年で共有し、担任、副担任、学科と連携をはかり、課題に対処をする。 ・こまめな家庭連絡を心掛け、家庭と連携をして生徒を育成する。 ・進路指導部と連携をはかり、進路指導を行っていく。
学年経営 (第3学年)	規範意識の向上と、自ら考え行動できる人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席・遅刻の減少、提出物の期限厳守の徹底など、自己管理能力を育てる。 ・自己分析と将来設計を意識させ、自分の適性に合った進路選択ができるよう指導する。 ・進路指導を通じて、社会人としてのマナー・常識を身につけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒情報を学年で共有し、各分掌と協力しながら学校全体で指導にあたる。 ・本人の特性を理解し、保護者と連携しながら指導にあたる。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、マナーなど基本的な生活習慣の確立に努める。 ・わかる授業の実践により、基礎基本の確実な定着を図る ・いじめの未然防止に関わる適切な対応を図る ・教職員の在校時間の適正化と健康保持に努める 	